






代表幹事	事務局			起案者	
	事務局長	合議			
					
起案	2024年	5月	31日	公 印	
決裁	年	5月	3/日		
施行	年	5月	3/日		
指示事項又は意見					
件名	補助事業等実績報告について				
標記の件について、補助事業年度の終了に伴い、米子市長に対し、下記のとおり補助事業の実績報告をいたしたく伺います。					
記					
1 交付決定日	令和5年6月12日（人起第371号-2）				
2 交付決定額	320,000円				
3 補助金受領日	令和5年7月14日（概算払）				
4 精算額	320,000円				
5 実績報告書	別紙（案）のとおり				

令和6年5月 日

米子市長 伊 木 隆 司 様

補助事業者等 米子市錦町一丁目139番地3
米子市人権問題企業連絡会
代表幹事 小 笹 登
電話番号 23-5416

補 助 事 業 等 実 績 報 告 書

令和5年6月12日付け人起第371号-2で交付決定の通知のありました補助金等に係る補助事業等の実績につきまして、米子市補助金等交付規則（平成17年米子市規則第46号）第18条の規定により、次のとおり報告します。

記

- | | | |
|---|------------------------------------|----------|
| 1 | 補助金の交付決定額 | 320,000円 |
| 2 | 補助金等の精算額 | 320,000円 |
| 3 | 補助金等の既受領額及び受領日
概算払（令和5年7月14日受領） | 320,000円 |
| 4 | 補助事業の実施期間
令和5年4月1日～令和6年3月31日 | |
| 5 | 添付書類
(1) 事業報告書
(2) 収支決算書 | |

2023年度事業報告

米子市人権問題企業連絡会は、1996年の設立以来、会員企業相互の連携を密にするとともに、企業内はもちろん、社会に人権を定着させるための様々な取り組みを進めてまいりました。近年、企業活動が社会にもたらす影響が更に注目され、また国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」など国際的な基準に照らしてその行動が評価されるようになっており、自社内に限らず、サプライチェーン全体を含めた人権への取り組みが求められています。各企業はその社会的責任をしっかりと自覚し、人権問題に対する正しい理解と認識を深めなければなりません。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが第5類となったことを受け、4年ぶりに対面での総会の開催など、概ね平常の取組みを行うことができました。まだ主催研修会や県内外の集会の参加者はコロナ禍前までは戻りませんが、特に研修会では対面ならではの研修効果も得られ、企業トップから従業員一人ひとりの人権意識の高揚を図ることで、差別のない明るい職場づくりと公正採用選考の推進等に努めてまいりました。

6月28日には新規採用者研修を開催し、 さんに同和問題についての講演、また の さんに電話対応のあり方について実技を加えてご指導いただきました。

12月4日には、人権問題研修会を開催し、「突然、僕は殺人犯にされた～ネット中傷被害を受けた10年間～」と題して、 さんに、ご自身の体験談を含め、自身が加害者・被害者にならないための留意点などを実際のインターネット上の画像なども交えながらお話いただきました。

2月28日には、トップ及び担当者等研修会を開催し、「改正障害者差別解消法 合理的配慮の義務化への企業のそなえ」と題して、 さんに、精神障がいを中心に、どのような合理的配慮の提供ができるのか、建設的対話や環境整備のポイントなどを分かりやすくお話いただきました。

その他、全国集会では、「部落解放・人権西日本夏期講座」「部落解放研究全国集会」「全国企業連絡会全国集会」「人権啓発研究集会」等に多数の方にご参加いただき、人権問題の解決に向けた学習と交流を深め、資質の向上を図ることができました。

「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」は米子市で開催され、規模縮小ではありましたが、同和問題ほか様々な人権課題への取り組みなどを学ぶことができました。

また「第49回米子市人権・同和教育研究集会」は、あいにくの大雪で参加者は比較的少なめでしたが、記念講演と3分科会により、同和問題をはじめ、共生社会（高齢者）、子ども、バイアス等の人権課題について、研修を深めることができました。

機関紙「人企連だより」で活動の様子を会員企業の皆様にお知らせいたしました。

2023年度は会員も増え、会員数は72社となりましたが、今後も新会員の獲得と魅力ある企業活動の充実のため、会員企業が共に手を携え邁進していきたいと思います。

2023年度事業日誌

(敬称略)

月	日	事業内容	場所	参加者
4	13	2022年度会計監査	米子市役所	会計監査
4	20	第1回幹事会 ・総会議案について ・入会及び退会の承認 ・意見交換	ANAクラウンブ ラザホテル米子	幹事
6	7	総会 ・2022年度事業報告 ・2022年度収支決算報告及び監査報告 ・2023年度事業計画(案)について ・2023年度収支予算(案)について ・規約の改正について ・役員を選出(案)について	国際ファミリープ ラザ	30社 33名
〃	〃	第2回幹事会(代表幹事及び副代表幹事を選出)	〃	幹事
〃	〃	記念講演 演題: パワハラ理解と適切な指導のために 講師: ██████████(██████████)	〃	27社 30名
6	20 21	第48回部落解放・人権西日本夏期講座 ・講演「持続可能な社会とビジネスを創る企業の人権尊重の取 り組み」 講師: 板橋正明・真崎宏美(SDGパートナーズ有限会社) ほか	愛媛県県民文化会 館(松山市)	5社 9名
6	28	新規採用者研修会 ・講演「峠の先にあるもの」 講師: ██████████(██████████) ・講習「電話対応マナー研修」 講師: ██████████(██████████)	米子コンベンショ ンセンター	6社 22名
8	18	第48回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 ・講演・報告「職場のパワーハラスメントをなくすために」 講師: 中尾和則((公社)鳥取県人権文化センター)ほか ・報告「外国人技能実習生と向き合って2023」 講師: 穂山康夫(菅公学生服(株)米子工場) ほか	米子コンベンショ ンセンターほか	17社 33名
11	9	三市人企連情報交換会 ・各市人企連の活動状況について ・意見交換	鳥取市役所本庁舎	代表幹事 事務局

月	日	事業内容	場所	参加者
1	14 15	部落解放研究第56回全国集会 ・記念講演 講談「はだしのゲン」 講師：神田香織（講談師） ・地元報告「和歌山県水平社創立100年」 講師：██████████（██████████） ほか	和歌山県民文化会館ほか（和歌山市）	5社 7名
1	2	4 人権問題研修会 ・講演「突然、僕は殺人犯にされた～ネット中傷被害を受けた10年間～」 講師：スマイリーキクチ（タレント）	米子コンベンションセンター	15社 28名
1	2	8 第40回同和問題に取り組む全国企業連絡会全国集会 ・記念講演「LGBTQ+フレンドリーな取り組みがもたらす企業価値の向上～ダイバーシティ経営における多様な性の視点～」 講師：██████████（██████████） ・記念イベント「世界を繋ぐ音楽」 アーティスト：サクソフォンカルテット・コバン	神戸芸術センター（神戸市）	4社 4名
1	2	27 第3回幹事会（入会の承認）	書面表決	幹事
1	1	2 第4回幹事会（退会の承認）	書面表決	幹事
1	2	5 第49回米子市人権・同和教育研究集会 ・記念講演「子どもたちに部落差別をどのように伝えていくか？」 講師：北川真児（部落解放同盟兵庫県連合会事務長） 池本和浩（部落解放同盟兵庫県連合会青年部事務局長） ・分科会「バイアス、ミナオス？ー私、あなた、社会の『当たり前』を見直すー」 講師：岡 研司（(公社)鳥取県人権文化センター専任研究員） ほか	米子コンベンションセンター	10社 18名
2	2	1 第38回人権啓発研究集会 ・記念講演「京都の祭礼と人権問題」 講師：八木 透（佛教大学教授） ほか	京都市勧業館「みやこめっせ」（京都市）	3社 3名
2	2	3 第5回幹事会（入会の承認）	書面表決	幹事
2	2	8 トップ及び担当者等研修会 ・講演「改正障害者差別解消法 合理的配慮の義務化への企業のそなえ～精神障がいのある人などに対する合理的配慮とは～」 講師：██████████	米子コンベンションセンター	22社 38名
3	3	1 人企連だより発行		
3	3	29 第6回幹事会（入会の承認）	書面表決	幹事

2023年度収支決算

(1) 一般会計収支決算

収入の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B-A)	決算額の内容
1 会費	1,025,000	1,048,000	23,000	～29人 @ 5,000 × 14社 = 70,000円
				30～99人 @10,000 × 31社 = 310,000円
				(途中入会) @ 8,000 × 1社 = 8,000円
				(途中入会) @ 5,000 × 1社 = 5,000円
				(途中入会) @ 2,000 × 1社 = 2,000円
				(途中入退会) @ 1,000 × 2社 = 2,000円
				100～199人 @20,000 × 14社 = 280,000円
				(途中入会) @11,000 × 1社 = 11,000円
200～299人 @30,000 × 7社 = 210,000円				
300人～ @50,000 × 3社 = 150,000円				
				75社 1,048,000円
2 雑入	3,340	11	△ 3,329	預金利息等
3 繰越金	951,660	951,660	0	前年度繰越金
合計	1,980,000	1,999,671	19,671	

支出の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	流用額(B)	決算額(C)	比較増減(C-(A+B))	決算額の内容
1 会議費	140,000	0	128,508	△ 11,492	幹事会、総会、三市情報交換会
2 事業費	1,313,780	0	793,269	△ 520,511	
(1) 研修費	838,500	0	630,819	△ 207,681	研修会、全国集会参加費
(2) 旅費	275,280	0	29,680	△ 245,600	全国集会、三市情報交換会旅費
(3) 啓発費	200,000	0	132,770	△ 67,230	人権啓発DVD購入
3 事務費	140,000	0	29,314	△ 110,686	
(1) 通信運搬費	100,000	0	11,860	△ 88,140	切手
(2) 消耗品費	40,000	0	17,454	△ 22,546	事務用消耗品
4 負担金	11,000	0	10,220	△ 780	鳥取県研究集会負担金
5 予備費	375,220	0	0	△ 375,220	
合計	1,980,000	0	961,311	△ 1,018,689	

(収入) 1,999,671円 - (支出) 961,311円 = 1,038,360円は、次年度へ繰り越す。

(2) 補助事業会計収支決算

収入の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B-A)	決算額の内容
1 補助金	320,000	320,000	0	米子市補助金
2 雑入	0	0	0	預金利息
合計	320,000	320,000	0	

支出の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B-A)	備考
1 事業費	320,000	320,000	0	独自研修開催に係る経費
合計	320,000	320,000	0	